

文教警察委員会 県内所管事務調査の概要

【令和4年5月10日（火）】

◆調査箇所：大分中央警察署

＜概要＞

大分中央警察署（管轄：大分市）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年非行防止・保護対策の推進、交通死亡事故の抑止、悪質・重要犯罪の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・留置所内での被留置者の健康管理について
- ・交通違反の取締り強化について
- ・防犯カメラの充足率について

◆調査箇所：豊後大野市立緒方小学校

＜概要＞

同校は、生徒数106名、各学年1クラス、特別支援学級1クラスの小規模校である。「未来に向かって生きる力を備えた緒方っ子の育成」を教育目標とし、連結型小中一貫教育・校種間連携を推進している。令和3年度豊後大野市教育委員会指定のGIGAスクール構想推進校として、デジタル教科書の効果的な活用の研究を行っており、その研究内容について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・デジタル教科書「GONちゃん」について
- ・紙資料とタブレットの使用比率について
- ・図書館の活用について

◆調査箇所：大分県立竹田高等学校

＜概要＞

同校は、自律自尊・進取研鑽・和衷協同の校訓のもと、生徒が主体的に学び他者と協働する力を高め、より良い社会づくりに貢献できる人材を育成することを教育目標としている。生徒数は359名、欠員数は61名と定員割れの状況が続いているため、熊本県阿蘇市から入学の受け入れ、地域との連携など各取組内容の説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・熊本県阿蘇市からの入学者について
- ・定員確保のための取組について
- ・推薦枠の生徒に対する教育方法について

◆調査箇所：竹田警察署

<概要>

竹田警察署（管轄：竹田市）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・山岳遭難救助隊について
- ・中九州自動車道の開通と交通事故の発生率との関連について

【令和4年5月16日（月）】

◆調査箇所：大分県立さくらの杜高等支援学校

<概要>

同校は、県内初、知的障がいのある生徒を対象に卒業後の企業への一般就労を目指した職業教育を行う高等部のみの特別支援学校として本年4月に開校した。ジョブコンダクターによる就労支援など、入学から進路先決定までのカリキュラムについて説明を受けた。

また、同校ならではの施設（食品加工室やメディアルームなど）や授業風景の見学も行った。



<主な質疑等>

- ・遠方の生徒に対する交通手段について
- ・入学条件（障がいの程度など）について
- ・学校医の充足数について

◆調査箇所：警察学校

<概要>

警察学校における施設、組織、教育基本方針、初任科生の入校概要、初任科生等の入校期間、入校式、日課時限について説明を受けた。

昨今の新型コロナウイルス等の影響で、黙食の実施や柔道剣道等の術科訓練は少人数で基本動作や形を中心に行うなど感染対策を徹底している。

警察官としての自覚が持てるよう公安委員長訓育やOB経験談等の各種特別授業を行っている。



<主な質疑等>

- ・教育基本方針にある身上把握について
- ・女性職員に対する施設整備等の環境について
- ・警察官としてのモチベーション維持の為の取組について

◆調査箇所：臼杵市立市浜小学校

<概要>

同校は、生徒数424名、18学級と市内で最も規模の大きい小学校である。教科担任制の実施や授業力向上アドバイザーの活用などにより、全国学力調査では、過去5年間ほぼ全国平均を上回っている。

また、令和2、3年度国立教育研究所教育課程研究指定校事業やミドルリーダーによるミドルアップダウン・マネジメントの構築による組織力向上の取組について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・朝食支援について（運営者、運営日数、食べに来る人数）
- ・特別支援学級が増加傾向にある理由について
- ・新型コロナウイルスによる影響について（不登校、体育等の授業）

◆調査箇所：大分県立臼杵高等学校

<概要>

同校は、生徒数541名、15学級と市内の進学拠点校である。臼杵駅から近いため、大分市内から通っている生徒も多い。今後も選ばれる学校づくりとして中学校との連携促進や学力向上に向けたプログラムなどの取組について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・臼杵高校難関大チャレンジプログラム（UNC）について
- ・大分市内からの電車での通学状況について
- ・校舎の老朽化について

◆調査箇所：臼杵津久見警察署

<概要>

臼杵津久見警察署（管轄：臼杵市、津久見市）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・地震等で津波が発生した際の対応について
- ・災害救助等で使用する無線設備について

【令和4年5月17日（火）】

◆調査箇所：大分県立佐伯豊南高等学校

＜概要＞

同校は、各学年に食農ビジネス科、工業技術科、福祉科、総合学科2学級を有する総合選択制高校であり、福祉科では、例年、介護福祉国家試験で全国平均を大きく上回る合格率を出している。

近年は定員に達しない状況が続いており、その対策として県主催の高校魅力化推進事業への取組について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・職員の働き方の推進におけるスクールサポートスタッフについて
- ・福祉科の入学志願者数の減少について
- ・市内外の生徒数の割合について

◆調査箇所：佐伯教育事務所

＜概要＞

佐伯教育事務所（管轄：佐伯市）における組織、管内学校の概要、管内教職員の状況、管内指導の重点方針等について説明を受けた。

また、ICTを効果的に活用するために、夏休み中のタブレット持ち帰りの許可や遠隔教育での実証研究など、佐伯市独自の取組状況について報告を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・こころのコンシェルジュについて
- ・管内の特別支援学級の設置状況について
- ・インクルーシブ教育の体制について

◆調査箇所：佐伯警察署

＜概要＞

佐伯警察署（管轄：佐伯市）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・高齢者の自動車免許自主返納について
- ・佐伯総合庁舎内の佐伯中央交番の役割について
- ・水難事故における海上保安庁との連携について

◆調査箇所：運転免許センター

<概要>

運転免許課の組織、事務分掌、業務重点（高齢運転者等に対する的確な運転免許施策の推進）、業務概要（運転免許業務、試験業務、行政処分業務、講習業務、教習所指導業務等）、懸案事項（手数料収納のキャッシュレス化、運転免許証のデジタル化への対応等）について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・運転免許試験の実施日について
- ・違反者講習について
- ・高齢者の免許返納について

◆調査箇所：交通機動隊

<概要>

交通機動隊における組織関係、白バイ等車両の保有台数、基本方針（殉職受傷事故の有無、交通指導取締りの推進）、業務内容（交通事故発生時における初動措置、県内の主要行事である別府大分毎日マラソン大会等の交通整理等）、全国白バイ安全運転競技大会、殉職受傷事故の絶無について説明を受けた。

また、白バイ隊員による走行訓練を見学した。



<主な質疑等>

- ・女性隊員について
- ・車両のメンテナンスについて

【令和4年5月26日（木）】

◆調査箇所：別府教育事務所

<概要>

別府教育事務所（管轄：別府市）における組織、管内学校の概要、管内教職員の状況、管内指導の概要、重点方針、課題等について説明を受けた。

事務所の取組として、授業改善に係る窓口の開設や、学校の要望に沿った研修の実施、学力向上に向けた取組実践事例のホームページ等への掲載といった報告を受けた。



<主な質疑等>

- ・いじめが解消されない場合の対処法について
- ・教職員の定年前の退職について
- ・管内の大分県学力定着状況調査の結果について

◆調査箇所：大分県立杵築高等学校

<概要>

同校は、生徒数588名、15学級と市内の進学拠点校である。そのほとんどが、杵築市、日出町、国東市からの生徒である。1年次から、難関国公立大学を目指す「志学クラス」を設けており、希望進路に応じたコース選択制を取っている。また、昨今はコロナウイルスの影響で実施が制限されているが、グローバルな人材を育成する「志四海」プロジェクトの取組について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・生徒の通学手段について
- ・教員の働き方改革と部活動への取組について
- ・「志四海」プロジェクトについて

◆調査箇所：国東警察署

<概要>

国東警察署（管轄：国東市、姫島村）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・大分空港警備派出所の業務内容について
- ・振り込め詐欺防止の警報発生器「せっと君」について
- ・職員の倫理研修について

【令和4年5月30日（月）】

◆調査箇所：豊後高田市立真玉中学校

<概要>

同校は、生徒数47名、各学年に1学級及び特別支援学級のある小規模校である。真玉海岸に近いこともあり、令和3年度においては、県の防災教育モデル実践事業のモデル校として取り組み、全校生徒で避難ルートの調査検討や災害時に関する研究など実施内容の報告を受けた。



<主な質疑等>

- ・デュアルクールについて
- ・防災教育について
- ・他校との統合について

◆調査箇所：大分県立高田高等学校

<概要>

気力・気節・気尚の三気の体現を教育目標とし、国公立大学進学からキャリアアップまでなりたいを実現させる四つのコースから選択できるようになっている。令和3年度本県主催の地域との協働による高校魅力化推進事業の採択校としての取組について報告があった。



<主な質疑等>

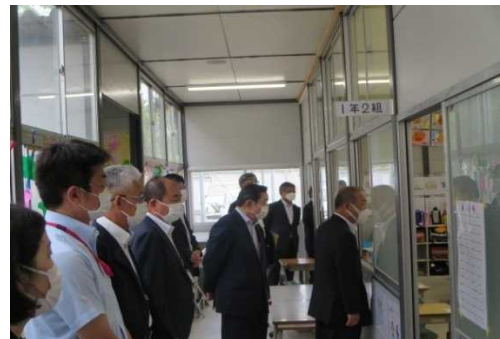
- ・ 大学卒業後の進路状況について
- ・ 地域との協働による高校魅力化推進事業について
- ・ 募集定員確保の取組について

◆調査箇所：宇佐市立豊川小学校

<概要>

同校は、生徒数324名、13学級と市内でも大規模校である。最近では、校区内の住宅団地造成が盛んであり、年々、児童数は増加傾向にある。

独自の取組として、自問清掃（自らの心に問い、自分を人として成長させる清掃）の内容について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ 自問清掃のメリット、デメリットについて
- ・ 電子図書などのICT活用の取組について
- ・ 体育等における新型コロナウイルス感染症対策について

◆調査箇所：中津警察署

<概要>

中津警察署（管轄：中津市）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ 特殊詐欺発生状況のうち警察安全相談について
- ・ 次世代育成講座について
- ・ 交通事故の発生状況について

【令和4年5月31日（火）】

◆調査箇所：日田警察署

＜概要＞

日田警察署（管轄：日田市）における組織、管内図、概要、運営重点（総合的な犯罪防止に向けた各種対策の推進、子ども・女性・高齢者の安全確保と少年の非行防止・保護対策の推進、交通死亡・重傷事故の抑止、悪質・重要犯罪等の徹底検挙、暴力団等組織犯罪対策の推進等）、懸案事項について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・災害発生時の訓練、設備について
- ・児童虐待増加傾向の理由について
- ・特殊詐欺の認知件数について

◆調査箇所：大分県立日田高等学校

＜概要＞

同校は、創立100年目を迎えた、全日制と定時制を有する進学校である。

令和3年度からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）Ⅲ期目がスタートし、大学等の外部との連携や独自の教科「SS探究」を設定するなどの取組の説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・入学者選抜実施状況について
- ・進路指導体制について
- ・SSHのクラス編成について

◆調査箇所：日田教育事務所

＜概要＞

日田教育事務所（管轄：日田市、玖珠町、九重町）における組織、管内学校の概要、管内教職員の状況、新型コロナウイルス感染症対策、重点方針、経営方針、課題等について説明を受けた。

また、ICTを活用した授業を事例として、動画等で説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・アセスメント支援プログラムの活用について
- ・人間関係づくりプログラムについて
- ・管内の特別支援学級の推移について

◆調査箇所：大分県立日田林工高等学校

<概要>

同校は県内唯一の林業・工業併設専門校であり、林業、機械、電気、建築土木の全4学科を設置している。特に林業系は明治34年の創立以来の歴史と伝統を誇る。

懸案事項、課題として募集定員（各科40名）の確保があり、学校HPや小中学校への出前授業等を通して本校の魅力発進や効果的なアピールを行っている。



<主な質疑等>

- ・近隣県からの生徒受入について
- ・校舎のバリアフリー化について
- ・募集定員の確保について